

2019年度 交換留学 留学報告書

音楽芸術学科 3年

留学先：アメリカ ホープカレッジ

留学期間：2019年8月～2019年12月

もともと、留学に行ったら最初の段階の目標としては、たくさんの友達を作り何不自由なく英語でコミュニケーションをとることでした。文法に不安があるのは変わりありませんが、帰る頃には割とスムーズに会話を進めることができるようになりました。帰ってきた今でも友達と電話をしたり、メッセージのやりとりをすることができるので、向こうに住んでいた頃とは大きく違いはあるものの、現地で沢山友達を作れたおかげで留学が終わった後も英語に触れ続け、学び続けることができているので、目標が達成できたと思います。

アメリカに行く前は、授業についていけないかと不安になってばかりいましたが、留学生ということを理解してくれる教授も沢山いらっやだったので気が少し楽でした。実際、授業を受けてみると、私が文系だからというのもあると思いますが、授業内で話されていることは想像ほど難しい言葉は使われていないので怖がることなく受けることができました。予測していなかったことは課題の多さです。日本の大学に課題があまりないことに対して、危機感を覚えるほどの課題量でした。また、どの授業も、日本のように週に1度のクラスではなく、週に2、3回あるものしかなかったため、課題も1週間猶予があるわけではなく2日ほどで終わらせなければいけなかったのもとても挑戦的でした。特に英語は分厚い本を数週間読み終わらせるカリキュラムだったので2日で90ページ前後読まなければいけないことが普通でした。また、それと同時に他の授業でも次の授業の予習のような形で20ページほど読まなければいけないことも多々ありました。読むスピードはが元からそこまで早くないのと、内容も難しい本が多かったということもあり、とにかく読むのに時間がかかる上に、イベントのための練習だったり他の課題ももちろんやらなければいけなかったのも、ほぼ徹夜のようなものをするが多かったです。

専攻である音楽の勉強も、当初思い描いていたように、元から日本で学び、知っていたことを異なるアプローチの仕方、異なる言語で学ぶ、という方法で深く理解し、さらに新しい分野も少し学ぶ機会もあったので達成することができました。

このように留学を通して、勉強ができただけでなく、友達を沢山作って、日常会話を生活する中で身につけていったり、留学とはどんなものなのかを改めて体験したことにより実感したりすることができました。1学期のみの留学で、まだまだ個人的な課題は残っていますが、たくさんのことを吸収し、成長できた学期になりました。